

<北ロータリーガバナー補佐就任挨拶： 渡辺敏弘会員>

今年度ガバナー補佐を務めさせて頂く渡辺敏弘です。実は一昨年(2021)の11月のパスト会長会議の席で、皆様より使命を受ける羽目となりました。当クラブには多くの優れた先輩方、又、ロータリーに詳しく意欲と情熱を持ち学習、活動している若手の会員もおります。

その様なロータリアンを差し置いてお引き受けすることは身の程知らずでもあり、大変心苦しいことですが、ロータリーの友情と寛容の心を持ちましてお許し願えば幸に存じます。

ガバナー補佐の役割は「地区レベルでの職務を遂行し、指定されたクラブの管理運営に関してガバナーを補佐する債務を担う」(手続き要覧)とあります。基本的にはガバナーと分区とのパイプ役であります。要するにガバナーの方針、意向や地区からの連絡事項を各クラブに適切に伝え同時に各クラブの計画、問題点等を伝達するメッセンジャーと認識しています。

今年度北クラブはホストクラブとして情報研究会・インターシティミーティング・5クラブ対抗ゴルフ大会など大きな行事を担当することになりますが、これらを無事に進めるには当クラブの児山会長、平田幹事、高橋一彦補佐幹事を初めとして会員の皆様の御指導、御協力が不可欠であります、どうかよろしくお願い申し上げます。

御承知の通り今年度 R.I.会長のテーマは「ロータリーを実践しみんなに豊かな人生を」であります。「ENGAGE ROTARY CHANGE LIVES」国際協議会で発表された時、日本語訳に異を唱えるガバナーエレクトもいたそうです。R.I.諸文献邦訳には「翻訳は解釈された創作」と割り切らないまでも、会長のテーマは「文学的、情熱的、美しく詩的に(翻訳委員)」メッセージは会長の思想を十分咀嚼し表現するに最もふさわしい日本語を選択することを主眼とするようです。

このテーマメッセージを受け、関口ガバナーは「世のため人のためにロータリーを実践しよう」と言い換え、それにはまず自分自身を磨きパワーを身に着け、それを他に影響されることがみんなの人生を豊かにするものである、そしてこのテーマは五大奉仕のみならずロータリー財団の人道的プログラムにも適用されるでしょうと述べています。

さて関口ガバナーの地区運営の基本方針についてですが、地区テーマは「元気なクラブを目指して」であります。奉仕と親睦、友愛はロータリーの二本柱であり、車の両輪に例えられています。この両輪が競うように力強く回ってこそ元気なクラブが生まれるわけで、過去当地区では職業奉仕を中心とした五大奉仕が高く掲げられ、ともすれば親睦が忘れられそうな気味があったが、今年度の基本方針としてこの両輪である親睦を強調する年度としたいと結んでいます。こうした中で R.I.会長のテーマに添う活動をしながら 7つの目標を掲げ各クラブの運営に反映して頂くよう求めています。

裏面へ続く→

- 1, 「奉仕」と「親睦」のバランスのとれた実践
- 2, 「元気なクラブ」を目指して・・・①例会の重視。(出席と親睦の充実)  
②趣味の親睦活動をより活発に。(退会防止)
- 3, 社会奉仕活動「0クラブ」  
を無くしたい  
奉仕の心を増強させる一つの機会として。
- 4, 会員増強・・・・・・・・・・一瞬でも会員数 3,000 人を超えたい。  
(4人組行動隊組織の活動を促したい)
- 5, 財団に対する意識変革・・・①財団は寄付するだけではなく使用し利用するもの  
②一人 150\$を目指したい。(R 財団から要請)
- 6, 公共イメージ・・・・・・・・①「ライオンズは知っているがロータリーは知らない」  
とは二度と聞きたくない。  
②ロータリーとは何であり、何をしている団体かを伝えたい。
- 7, 情報委員会・・・・・・・・早い時期にガバナー補佐の協力を得て、地区研修リーダー  
担当のもと地区主催で「情報研究会」を開催します。目的は  
各クラブで充実したオリエンテーションができる会員の再  
養成。(退会防止につながるように)

《オリエンテーションとは》

- ①物事の進路、方向を定めること。又、それが定まるように指導すること、方向付け。
- ②新入生や新入社員に対する説明、教育

この一年、私、微力ですが地区と分区とのパイプ役に徹して精一杯務める所存ですので、どうかよろしく願いいたします。